

伝えよう 未来へ



「日本の節句文化を」

重陽の節句

9月9日

菊の花を飾ったり
菊酒を飲んで長寿を
願います。

七夕の節句

7月7日

願い事を書いた短冊を笹に
飾り、芸事や学業などの上達
を願います。

上巳の節句

3月3日

雛人形を飾り、女の子の健やかな
成長を願います。

端午の節句

5月5日

鯉のぼり、鎧や兜を飾り男の子
の健やかな成長を願います。

人日の節句

1月7日

春の七草を入れた「七草粥」を
食べ無病息災を願います。



一般社団法人

日本の節句文化を継承する会

■ 会の目的

一般社団法人日本の節句文化を継承する会は、設立以来、薄らぎつつある日本の節句文化を、将来に繋げ節句文化が家族や親戚、近隣の人達と交わり、絆や、良き日本人としての人格育成に役立って来た現実を認識し節句文化の継承に努めています。

当会が、平成27年から平成28年にわたり実施した、大学生による節句文化の認識度調査は、全国12大学のご協力を頂き、学生、両親、祖父母を対象に三世代の合計1,773名の回答を頂きました。

回答結果を読み解き感じることは、各世代の方々は日本の節句文化に対する関心度が高く、今日まで正しく伝承されてきているものの、今後も今まで通り、正しく後世に伝承されるか危惧されていることで、節句文化の継承の必要性を強く感じる結果でした。

当会は、節句文化の継承活動と産業振興を活性化し、回答して頂いた多くの皆様が希望される「日本の節句文化をユネスコの無形文化遺産」への登録も目指し、国や地域社会で教育を通じ文化が守れるよう邁進します。

■ ご入会のお願い

一般社団法人日本の節句文化を継承する会は、当会の主旨をご理解頂き、今後の活動にご参加して頂ける正会員様、ご支援頂ける賛助会員様を募集しています。皆様のお力をお借りしながら目的を達成したいと思えます。ご理解のうえ、ご入会頂けますようお願い申し上げます。

■ ご入会のメリット

- ・研修会(リモートも併用)を通じて知識向上と会員相互の交流が図れます。
- ・本会ホームページから会員企業ホームページへのリンクを貼らせて頂きます。
- ・会報誌を通じて節句文化継承の活動内容を共有することが出来ます。
- ・本会の五節句アニメーション動画『節句とくノー』を無償で活用頂けます。
- ・節句文化啓もう用の五節句飾り展示物を無償でお貸出しします。

■ ご入会頂ける皆様へ：ご入会のご案内

会員区分① 個人

正会員	入会金	5,000円	年会費	5,000円(一口)
賛助会員	賛助費	5,000円(一口)		

会員区分② 団体(法人含む)

正会員	入会金	5,000円	年会費	5,000円(一口)
賛助会員	賛助費	5,000円(一口)		

※ご入会のお申し込みは、右記QRよりお進みください。



■ ご連絡先

一般社団法人 日本の節句文化を継承する会

Eメール info@go-sekku.org

ホームページ https://go-sekku.org



主な活動報告

平成26年(2014年) 8月 大阪府



研修会 世界遺産とユネスコの 無形文化遺産について

講師：世界遺産総合研究所 所長 古田陽久先生

平成29年(2017年) 2月 東京都



研修会 五節句文化と 人形供養について

講師：國學院大學教授 新谷尚紀先生

平成29年(2017年) 4月～5月 三重県



お伊勢さん菓子博2017 協力

鯉のぼりをシンボルに、端午の節句を随所に織り交ぜ開催。
鯉のぼりくぐりや鯉のぼりドレスファッションショーなど。
(第27回全国菓子大博覧会・三重 実行委員会)

平成29年(2017年)



大学生による三世代アンケート調査

三世代の節句文化の時代的変遷を調べ、文化の
継承に今何が必要なのか把握し、今後の活動を
より活性化させる事を目的とし、実施。

平成29年(2017年) 5月 静岡県



アンケート併用型パネルディスカッション 節句文化の継承と業界の未来

38年前と現代のアンケート結果を比較検証しながら、節句文化
継承の行方、問題や課題の抽出、次代に継承するための取り組み
など未来を見据え我々が何をすべきかについて議論した。

平成29年(2017年) 10月～
京都・埼玉・中国・四国・東北・関西・中部・九州



若者のチカラ結集！ 「未来への懸け橋」構築事業

全国に潜在する若き「チカラ」を一つにし、業界
全体の明るい未来を描き、創造・活躍できる
きっかけの場となるように実施。

平成29年(2017年) 12月 東京都



研修会 ユネスコ無形文化遺産とは ～節句文化をユネスコ登録するために 今すること、今やってはいけないこと～

講師：元ユネスコ本部文化部長 愛川紀子先生

平成30年(2018年) 6月 大阪府



研修会 無形文化遺産登録の オモテとウラ

講師：石川紙業株式会社 代表取締役 石川大道氏

平成30年(2018年) 7月 東京都



日本の節句文化を継承する 議員連盟 設立

国会議員の皆様、文化庁の皆様と一緒に日本の
節句文化を継承すべく考え、実行して参ります。

平成30年(2018年) 12月 埼玉県



研修会 知っておきたい相続と 事業継承のキホン

講師：有限会社マルタツ 代表取締役 細野達男氏

令和元年(2019年) 6月 大阪府



研修会 ～ひな祭り～ その魅力の本質に迫る！

講師：ひな祭り文化普及協会 代表 清川紗衣氏

令和元年(2019年) 8月 東京都



2020年『日本博』に向けて 節句JAPAN実行委員会 立ち上げ

2020年の『日本博』に向けてイノベーション型プロ
ジェクトを構築すべく、実行委員会が始動。

令和元年(2019年) 12月 埼玉県



研修会 和食：ユネスコ無形文化遺産登録の前後

講師：一般社団法人 和食文化国民会議 調査・
研究部会長 大久保洋子氏

令和2年(2020年) 5月 全国各地



初のオンライン理事会 始動

コロナ禍の中、集まってるの理事会が開催出来ない
為、当会初のオンライン理事会を開催。

令和2年(2020年) 12月



五節句アニメーション動画 『節句とくノ一』が完成

「節句JAPAN」に向けて製作してきた、
五節句アニメーション動画『節句とくノ一』が完成。

令和3年(2021年) 2月～3月



ノルウェー大使館と スロヴェニア大使館に雛人形 寄贈

日本の文化に触れて母国にも「桃の節句」を発信して
欲しいとの思いから、ノルウェー大使館とスロヴェニア
大使館に雛人形を寄贈。

令和4年(2022年) 12月 東京都



会場＆オンライン講演会 「五節句文化の継承と 今後の取り組み」

講師：日本人形文化研究所 所長 林直輝氏

令和4年(2022年) 12月



「五節句飾り展示物製作プロジェクト」 全ての五節句飾り完成

日本人形文化研究所 所長 林直輝氏 企画・製作と
ご協力頂き、当会の「五節句飾り」が全て完成。

令和4年(2022年) 5月～ 大阪府



万博記念公園の太陽の塔横の 巨大ポールに10mの鯉のぼり掲揚

桃山学院大学 教授 中村哲氏
主催の「鯉のぼりを揚げようプロジェクト」に協力。

令和5年(2023年) 6月 東京都



日本の節句文化を継承する 議員連盟 総会

衆議院議員第一委員会館で総会が開催され、
伝統文化継承の危機や教育を通じた啓発活動、
無形文化遺産登録の必要性が議論されました。

令和5年(2023年) 8月 東京都



日本人形協会 創立50周年＆ 日本の節句文化を継承する会 創立10周年 記念講演会

ユネスコの使命と文化遺産保護～五節句文化の継承について～
講師：公益財団法人日本ユネスコ協会連盟
顧問 野口昇氏

令和5年(2023年) 10月 京都府



日本の節句文化を継承する会 創立10周年記念事業

京都ブライトンホテルで「創立10周年記念式典」と、
「和文化継承フォーラム2023～和の心を世界へ～」、
別会場で「京文化体験会・御朱印帳制作」を開催。

令和6年(2024年) 10月 埼玉県



研修会 儲かる会社と 儲からない会社の違い

講師：株式会社Nomoto Consulting 代表取締役 野本理恵氏

令和7年(2025年) 9月 埼玉県



研修会 日本の節句文化について

講師：國學院大學 文学部 服部比呂美氏